

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】令和3年3月18日(2021.3.18)

【公開番号】特開2020-38797(P2020-38797A)

【公開日】令和2年3月12日(2020.3.12)

【年通号数】公開・登録公報2020-010

【出願番号】特願2018-165482(P2018-165482)

【国際特許分類】

H 05 H 7/10 (2006.01)

H 05 H 13/02 (2006.01)

A 61 N 5/10 (2006.01)

【F I】

H 05 H 7/10

H 05 H 13/02

A 61 N 5/10 H

【手続補正書】

【提出日】令和3年2月5日(2021.2.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0036】

図3において、低エネルギー領域ではサイクロトロンと同様にイオンの入射点52付近を中心とする軌道をとる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0047

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0047】

次にビームの取り出し方法について説明する。本実施例の円形加速器39では、ビームの取り出しには、高周波キックカ70、ピーラ磁場領域44、リジェネレータ磁場領域45、セプタム電磁石43、上流側コイル34、下流側コイル35および高エネルギービーム輸送系47を用いる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0059

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0059】

ピーラ磁場領域44およびリジェネレータ磁場領域45は、磁性体製の複数の磁極片かコイル、あるいはその両者を非磁性材にて主磁極38に対して固定配置することで形成する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0129

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0 1 2 9】**

また、ピーラ磁場領域44、リジェネレータ磁場領域45の形成に、磁性体に加えて、上流側コイル34と下流側コイル35も用いるとすれば、ビームの効率的な取出しに向けた第1および第2擾乱磁場領域の磁場強度調整が可能となる。